

ミライの学校を創るプロジェクト News No.10

6月16日(木)に第5回学校開校準備委員会を開催し、「校名案の決定」について報告を行い、「3校交流」や「コミュニティ・スクール」について、説明・意見交換を行いました。

■ 校名案の決定について



新校の校名案は

「富秋学園」に決定しました!

校名の正式決定には、条例の一部改正が必要です。市議会での議決を得るまでの間は「(仮称)富秋学園」として対応を行います。

- 令和3年に校名募集を行い、139件(80案)の応募がありました。
- 校名案の検討については、応募内容をもとに令和3年に開催した第3回・第4回の学校開校準備委員会で意見交換を行いました。

● 意見交換での主な意見

- ・親しみやすさやわかりやすさが大切
- ・「富秋」を継承していくことが大切
- ・「富秋」は、これまでの歴史のなかで、定着・浸透している名称である
- ・慣れ親しんだ、今の学校の名前が無くなってしまうのは、寂しさを感じる
- ・全く新しい校名にして、新しいイメージを作っていくのも一つの考え方 等

- 学校開校準備委員会で、校名案を「富秋学園」とすることで意見がまとまったことを踏まえ、教育委員会で校名案を決定しました。

■ 3校交流について

富秋中学校区では、3校が1つの学校になることを見据え、これまで以上に様々な取組みを行っています!当日は、校長先生から現在の取組みについて説明していただきました。

■ 現在の主な取組み

幸小・池上小学年交流会



富仲祭への小学生招待

児童会・生徒会交流会

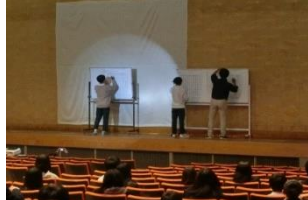


小6体験授業

3校支援学級交流会



あいさつ運動



市で統一の「わくわく研修日」を活用し、3校の教員が授業研究をはじめ、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）開校に向けた様々な話し合いを行っています。



富秋中学校区では、児童生徒や教員の交流等すでに様々な取り組みを行っており、ブックフェスタやITS咲かせ隊の取り組み等、地域とともに実施している活動もたくさんあります。開校に向けて、取り組みの継承やさらなる充実を図っていきます！

■コミュニティ・スクールについて

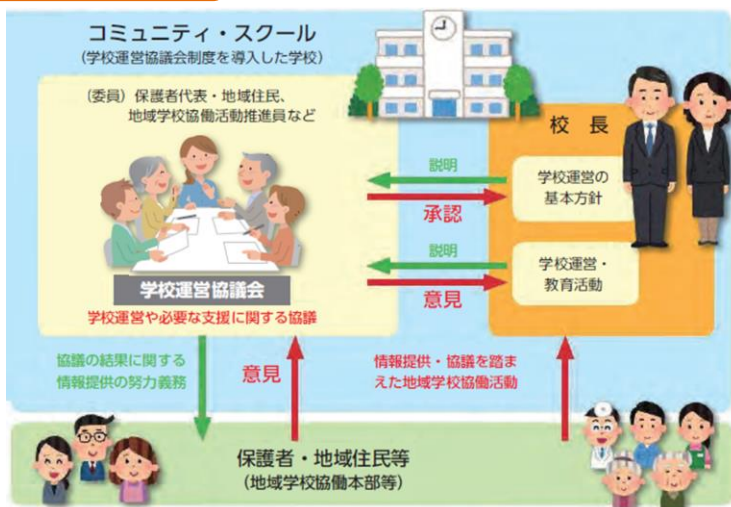
コミュニティ・スクールとは、学校と地域・保護者などがこれまで以上に一体となって、学校運営や子どもたちの育みについて話し合い、主体的に学校運営を担う制度を導入した学校のことです。

（仮称）富秋学園においても導入を想定しており、今回は制度内容や、すでにコミュニティ・スクールを導入している南松尾はつが野学園の取り組みの事例などを紹介しました。

（南松尾はつが野学園 取り組み事例）



地域の消防団や保育園等と一体で避難訓練を実施



「みなはつピンクシャツデー」として、教職員、保護者、地域など参加者が全員、いじめを許さないという意思表示として、ピンク色のものを身に着けるという取り組みを実施

■当日のグループ交流での意見（コミュニティ・スクール）

- ・学校協議員制度や地域教育協議会との違いを詳しく知りたい
- ・現在も様々な取り組みを行っているため、メンバーをどうするかが重要
- ・富秋中学校区での実施はいつごろ？ → モデル実施を行いながら、今後本格実施を予定しています

（その他）

- ・コロナによって児童生徒と地域との交流の機会が減っているので、元に戻していきたい
- ・新校の開校に向けては、PTAのあり方も整理していかなければいけない

次回は、校舎整備や通学路について、取り扱っていく予定です。

ニュースレターをメール配信中！

ニュースレターの配信を希望される方は、右のQRコードを読み取っていただき、お名前、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。

